

会 議 録

会 議 の 名 称		第3回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会
開 催 日 時		令和4年2月10日(木) 午前9時から11時30分まで
開 催 場 所		川島町役場2階 大会議室
議 題		評価基準の変更について 建設候補地の評価結果について 建設候補地選定に向けた課題について
公開・非公開の別		非公開
出席者	委 員	荒井喜久雄、川寄幹生、後藤真太郎、鈴木貞美、木村敏光、 小高春雄、石島一久
	事務局職員	町民生活課 渡辺英夫、井上靖夫、北原崇行 パシフィックコンサルタンツ株式会社 米田理津子、宇田川学、櫻井恭介
配 布 資 料		第3回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会会議次第 第2回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会会議録 川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会 第3回委員会 資料 評価項目及び評価基準 各建設候補地における評価結果(カルテ形式) 建設候補地評価一覧
<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 委員長より第3回検討委員会開催に当たっての挨拶をいただいた。</p> <p>3. 報告事項 (1) 建設候補地の名称変更について 事務局より地点番号No. 1、No. 10の名称変更について報告した。</p> <p>4. 議事 議事に先立ち、第3回検討委員会の署名人を委員長より指名した。</p> <p>(1) 評価基準の変更について 事務局案のとおりとした。建設候補地の評価に当たっては、以下の質疑・意見を踏まえることとした。 ※ 以下の質疑・意見等において、<u>太字・下線</u>を付した箇所は、委員から事務局に対する要望事項であることを示す。</p> <p><質疑・意見等> ・2車線以上の主要道路との接続について、緊急輸送道路に指定されていると、災害時は指定された車両しか通れずパッカー車も通行不可となるのでは。国道254号も指定されていた気がする。(委員)</p>		

- ⇒ 確認する。なお、2車線以上というのは、最低限の幅員は確保したいとの考え方である。(事務局)
- ⇒ 確認し、次回結果を示してほしい。(委員)
- ・8ページからの補足はいつ説明するのか。(委員)
- ⇒ これから説明する。(事務局)
- ⇒ (事務局から説明)
- ・活断層からの離隔について、300mの根拠は何か。(委員)
- ⇒ 元はダムで設計で300mの離隔が示されており、準用している。法令等で定められた基準値ではないが、候補地選定で一般的に用いられている。(事務局)
- ・敷地の考え方について、道路で区切っているのか。例えば道路の付け替えを行えば、どの候補地でも面積は確保できるのではないか。(委員)
- ⇒ 各候補地航空写真の赤枠は、町で行った検討調査時の境界を利用している。基本的には面積が5ha以上確保できるよう、道路や用水等動かさにくいもので区切っている。ご指摘の道路を付け替えればとの考えもあるが、現況をベースとしている。(事務局)
- ・近接地のエネルギー需要地について、将来的な見込みを評価すること、農業で利用するならばほとんどの場所で可能と考えるが、いかがか。(委員)
- ⇒ 電力・温水・温熱の利用が考えられるが、熱導管としては1km圏内が限度と考え、検討した。事務局でも農地への還元が必要との視点から評価した。(事務局)
- ・最大浸水深について、200年確率から1000年確率にしたことでどの程度深くなったのか。(委員)
- ⇒ 地点ごとに異なるが、1~2m程度深くなった。(事務局)
- ・評価基準の変更点について、問題なければ了承したいが、いかがか。(委員)
- ⇒ (異議なし)

(2) 建設候補地の評価結果について

建設候補地の評価に当たっては、以下の質疑・意見を踏まえることとした。

<質疑・意見等>

①No.1 正直

- ・カルテ形式資料にある通し番号が評価結果一覧に載っていないのでわかりづらい。(委員)
- ⇒ 体裁については検討させていただく。(事務局)
- ・浸水実績があるから避難所にならないとあるが、浸水するからこそ避難所になるのではないのか。(委員)
- ⇒ 事務局内でも議論したのだが、やはり浸水実績があることで住民が不安になる、実際の浸水時に避難所まで行き着けないと考えた。(事務局)
- ⇒ 全部の説明を聞いてから、統一的な考え方での判断・評価としたい。(委員)

②No.2 長楽

- ・排水について、長楽用水があり貴重な動植物が存在すると考えられるが、浄化槽を設置したら排水はどこへ流すのか。(委員)
- ⇒ プラント排水は処理後再利用し、無放流として外へ排水しないシステムも採用できる。その場合、発電効率が落ちる懸念はある。(事務局)
- ⇒ 無放流施設は結構あるが、コストアップ要因になる可能性はある。(委員)
- ・合意形成の項目で、他市町村との境界が500mとあるが、500mの根拠は何か。(委員)
- ⇒ 県内のいくつかの自治体で、500mを超えると公害防止協定を締結し、年1回報告をする、協議会を作る等している事例を参考とした。(事務局)
- ⇒ 東松山市に近い候補地であれば、東松山市の自治会と協議しなければならないのか。(委員)
- ⇒ 法的には必須ではないが、地元理解を得るためそのようにしている自治体はある。

(事務局)

③No. 3 伊草

- ・近くに養鶏場があるが、鶏は非常に敏感と言われている。何か評価できないか。(委員)
⇒ 民家・集落との距離の項目にコメントを加える。(事務局)

④No. 4 上貉

(特になし)

⑤No. 5 曲師

- ・環境センターが入っているが、この地域には次期ごみ処理施設は作らないという約束等はないか。(委員)
⇒ そのような協定は結ばれていない。なお、当時は今よりも迷惑施設として考えられており、他の場所では理解が得られず町長の判断で現在の場所になったことは考慮してほしいとの意見は、一部の住民から出されている。(事務局)

⑥No. 6 下八ツ林

(特になし)

⑦No. 7 三保谷宿南

(特になし)

⑧No. 8 三保谷宿北

(特になし)

⑨No. 9 鳥羽井

(特になし)

⑩No. 10 北園部

- ・主要道路が利点として挙げられているが、北側から搬入する場合はどう迂回するのか。(委員)
⇒ 信号制御もないので、右折侵入の時を考え評価をマイナスに修正する。(事務局)

○全体について

- ・建設費が高くてもエネルギー利用者が多ければ費用対効果が高くなるが、そのように評価しているのか。あるいは自然との関連で、そこにあることによって住民が嬉しく思う等も評価の対象になるのか。(委員)
⇒ 他の項目と掛け合わせでの評価はできていない。自然との関連も、今の評価項目上は設けられていない。現時点で需要度合いを見込むことは難しいと判断しており、今後の施設基本計画等の中で補っていく必要があると考えている。(事務局)
- ・平坦なところに盛土をすることだが、洪水時の水の流れや焼却場はどのようになるのか。(委員)
⇒ どこで破堤するのかで浸水の仕方が変わってくるが、浸水ナビでだいたい把握でき、浸水時間については評価した。なお、全域が浸水することを考えると、歩いて避難できるかについての避難所としての効果まで評価は行っていない。(事務局)
⇒ ここでやる話ではないが、町の地域防災計画の中で施設を防災拠点とするか等により位置づけが明確となり、有効な災害対策もとれる。事務局としても考え方があれば、それを関係部署にお伝えいただければと思う。(委員)
⇒ 川島町の土地柄を考慮した場所に焼却場が必要ではと考える。(委員)

(3) 建設候補地選定に向けた課題について

建設候補地の評価に当たっては、以下の質疑・意見を踏まえることとした。

<質疑・意見等>

①堤防への原付け盛土により天端の平坦地を拡張できる建設候補地の取り扱い

- ・国交省に確認し、その結果によって評価に入れるかを考えるのがよい。(委員)
⇒ 事務局から国交省に確認して、結果を委員へ周知してほしい。(委員)

②広域処理の相手先を考慮した評価項目の追加

- ・距離というより、走りやすい道路を考慮した評価ではないのか。(委員)
 - ⇒ 道路・経路を考慮した距離での評価を考えている。(事務局)
- ・加重平均等があると思うが、どのような形で求めるのか。(委員)
 - ⇒ ごみの発生重心という考え方で、人口重心を算出し、各重心からの運搬距離を評価したい。(事務局)
- ・東松山市と桶川市からの距離がどうかの問題ではないのでは。町民や町が候補地を設定し、それに対して2市が合意・協力いただく考えでよいのでは。(委員)
 - ⇒ 賛成。評価項目を追加した場合、桶川市と東松山市の中間に持ってくると評価が上がるが、まずは適地を探すのがよいのでは。(委員)
 - ⇒ 事務局が心配するのは、他自治体が入ってきて大幅に変わることであると思うため、別の要素で考えるのはいかがか。私も委員の意見には賛成。(委員)
 - ⇒ 幹線道路の項目でも評価している。基本的なスタンスは町としての候補地を選定、その中で広域化について配慮できればそれに越したことはない。委員の方々の意見を踏まえ、中項目としては追加しないこととしたい。(委員)

③評価結果の点数化

●点数の置き換え

- ・点数化はすることでよいか。(委員)
 - ⇒ (異議なし)

●合計の仕方

④評価結果の重みづけ

- ・水害時のありかたは同じ配点でいいのか。もう少し大きな点数とした方がよい。(委員)
 - ⇒ 重みづけで配慮になるか。例えば「防災」の浸水想定等で係数を考慮等。(委員)
 - ⇒ 重みづけで工夫する。(事務局)
- ・天端面積の確保について、3ha未満で△の候補地があるが、最低でも○にすべきであり、○にならないのであれば候補地として適していないとなるのでは。赤枠を少し広げて3ha以上確保できる区画で評価するのがよい。(委員)
 - ⇒ セットバックの3mを縮めることを優先し、無理なら底地を広げることで、天端面積が3ha以上となるように見直しをしたい。(事務局)
- ・例えば基本方針ごとにどの候補地が優れているかが分かるレーダーチャートのようなものがあるとよい。(委員)
 - ⇒ レーダーチャート等を作成することとしたい。(事務局)
- ・評価結果の点数の平準化の意味がわからなかった。(委員)
 - ⇒ 基本方針1つごとに合計20点を配分する方法。1番単純なのは積み上げであり、基本方針を重視すべきとなれば基本方針平準化となる。これについては、次回事務局案を示してほしい。(委員)
- ・日照の影響について評価しているが、天端面積がある程度広い場合、建物の建てる位置によってはほとんど影響がないと考えられるのか。(委員)
 - ⇒ 例えば冬至日の朝だと影が長くなり、夏場は短くなる。盛り土の際に6mの建物を建てるとなると影響すると考えられる。(事務局)
 - ⇒ 具体的な計画、アセスの段階でも日照の話は出てくるため、意識して進めていってほしい。(委員)
- ・No. 5の敷地を県道の南側としたのは庁内検討委員会でこうなったのか。(委員)
 - ⇒ 既存の施設があり、町が保有する土地が多いことから選定した。北側の方が広くとれるものの、用地取得費も考えて南側とした。(事務局)
 - ⇒ 建物の除却費用・期間等もあるが、他の候補地と同じようになるのか。(委員)
 - ⇒ 古い施設がある場所に建てたらどうかということで、ここを候補地としたとのこと。ある程度制限をかけて評価せざるを得ない。(委員)
 - ⇒ 本日出た課題を整理して、次回、事務局案を提案してほしい。町の歴史・風土・町民感覚等を踏まえた重みづけの案等を整理してほしい。(委員)

5. その他

次回第4回検討委員会は2月28日(月)となった。

<質疑・意見等>

- ・第4回委員会で3か所選定ということでよいか。委員会はいつで、いつまでに町へ提案するのか。(委員)
 - ⇒ 第4回委員会は2/28を予定しており、そこで3か所を選定する。委員会はそれで最後となるが、町への報告はその後となり、最終調整のみ正副委員長と行う。(事務局)
 - ⇒ 委員会で3か所選定すること。(委員)
 - ⇒ 委員会の時間も限られているので、1週間程度前には資料をいただきたい。(委員)
 - ⇒ 事前送付できるように努力する。(事務局)
 - ⇒ 当初想定の4回で決まらない場合、追加で開催する他自治体の例もあるため、その時の状況に合わせてもらえれば。(委員)
- ・上位3か所の選定にあたり同点の場合どうするか、次回委員会の最初に話してほしい。(委員)
 - ⇒ それも次回の宿題としてほしい。(委員)
- ・今回、地権者の評価が間に合っていないが、次回までに間に合うのか。(委員)
 - ⇒ 間に合わせるようにする。(事務局)

6. 閉会

副委員長から第3回検討委員会閉会に当たっての挨拶をいただいた。

以上

※昼食後、委員による候補地10か所の現地確認を行った。

署 名	山 高 春 雄
	石 島 一 久